

令和4年度シラバス（地理歴史）

学番 55 新潟県立六日町高等学校

|        |  |     |     |       |        |
|--------|--|-----|-----|-------|--------|
| 教科（科目） | 地理歴史（日本史B）選択・必履修   | 単位数 | 4単位 | 学年（系） | 2学年・文系 |
| 使用教科書  | 山川出版社『詳説日本史 改訂版』   |     |     |       |        |
| 副教材等   | 浜島書店『頻出テーマ日本史重要史料集』 第一学習社『最新日本史図表 二訂版』<br>啓隆社『新日本史研究ノート 標準編』 |     |     |       |        |

1 学習目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

2 指導の重点

- ① 大まかな歴史の流れをつかめるように留意し、歴史的考察力を身につけさせる。
- ② 基本的な内容の指導に力を入れ、細かい知識の羅列をできるだけ避ける。
- ③ 自学自習を促し、自主的に学習する態度を養う。

3 学習計画（1単位時間：55分）

| 月 | 単元名  | 教材                       | 学習活動   | 時間          | 評価方法                    |
|---|--|--------------------------|--|-------------|-------------------------|
| 4 | オリエンテーション<br>第1部 原始・古代<br>第1章 日本文化のあけぼの<br>1. 文化の始まり<br>2. 農耕社会の成立<br>3. 古墳とヤマト政権          | 教科書<br>史料集<br>図表<br>プリント | 授業の進め方・学習方法を理解させる。<br>自然環境や大陸からの文化の影響による生活の変化に着目して、旧石器文化から弥生文化にいたる社会について理解させる。 | 10          | 小テスト<br>授業への取り組み        |
| 5 | 第2章 律令国家の形成<br>1. 飛鳥の朝廷<br>2. 律令国家への道<br>.....（中間考査）<br>3. 平城京の時代<br>4. 天平文化<br>5. 平安王朝の形成 | 教科書<br>史料集<br>図表<br>プリント | 我が国における国家の形成と律令体制の確立の過程、隋・唐など東アジア世界との交流に着目して、古代国家の展開と古墳文化、飛鳥文化の特色について理解させる。    | 6<br>1<br>6 | 定期考査<br>テスト<br>授業への取り組み |

|   |  |              |   |         |                             |
|---|--|--------------|---|---------|-----------------------------|
| 6 | <p>第3章 貴族政治と国風文化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 撰関政治</li> <li>2. 国風文化</li> <li>3. 地方政治の展開と武士<br/>.....(期末考査)</li> </ol>       | 教科書史料集図表プリント | <p>東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など地方の動向に着目して、古代国家の推移と国風文化の展開及び中世社会の萌芽について理解させる。</p> <p>武士の土地支配と公武関係、宋・元とのかかわりに着目して、武家政権の形成過程と鎌倉新仏教など文化に見られる新しい気運について理解させる。</p> | 12<br>1 | 定期考査<br>テスト<br>授業への<br>取り組み |
| 7 | <p>第2部 中世</p> <p>第4章 中世社会の成立</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 院政と平氏の台頭</li> <li>2. 鎌倉幕府の成立</li> <li>3. 武士の社会</li> </ol>         | 教科書史料集図表プリント |   | 10      | テスト<br>授業への<br>取り組み         |
| 8 | <ol style="list-style-type: none"> <li>4. 蒙古襲来と幕府の衰退</li> <li>5. 鎌倉文化</li> </ol>   | 教科書史料集図表プリント |   | 3       | テスト<br>授業への<br>取り組み         |
| 9 | <p>第5章 武家社会の成長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 室町幕府の成立</li> <li>2. 幕府の衰退と庶民の台頭</li> <li>3. 室町文化</li> <li>4. 戦国大名の登場</li> </ol> | 教科書史料集図表プリント | <p>日本の諸産業の動向、日明貿易など東アジア世界との交流、庶民の台頭に着目して、産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開及び武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽など文化の動向について理解させる。</p>   | 12      | テスト<br>授業への<br>取り組み         |

学番 55 新潟県立六日町高等学校

|    |  |              |  |         |                             |
|----|--|--------------|--|---------|-----------------------------|
| 10 | <p>.....(中間考査)</p> <p>第3部 近世</p> <p>第6章 幕藩体制の成立</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 織豊政権</li> <li>2. 桃山文化</li> <li>3. 幕藩体制の成立</li> <li>4. 幕藩社会の構造</li> </ol> <p>第7章 幕藩体制の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幕政の安定</li> </ol> | 教科書史料集図表プリント | <p>ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などその後の対外関係、支配体制と身分制度や儒学の役割、文化の特色に着目して、織豊政権、幕藩体制の特質について理解させる。</p> <p>幕藩体制の下での経済機構や交通・技術の発展、都市の繁栄に着目して、農</p> | 1<br>13 | 定期考査<br>テスト<br>授業への<br>取り組み |
|----|--|--------------|--|---------|-----------------------------|

|    |   |                          |   |             |   |
|----|---|--------------------------|---|-------------|---|
|    | 2. 経済の発展  |                          | 業や商工業の発展及び町人文化の形成<br>農山漁村の生活文化について理解させる。  |             |   |
| 11 | <p>3. 元禄文化</p> <p>第8章 幕藩体制の動揺</p> <p>1. 幕政の改革</p> <p>2. 宝暦・天明期の文化</p> <p>3. 幕府の衰退と近代への道</p> <p>4. 化政文化</p> <p>……………(期末考<br/>査)</p>                | 教科書<br>史料集<br>図表<br>プリント | 農村や都市が変化して幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が対処した諸改革についての特徴を理解させる。幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、享保の改革・田沼時代・寛政の改革を中心に諸政策を考察させる。   | 12<br>1     | 定期考<br>査<br>小<br>ト<br>授<br>の<br>取<br>組<br>み |
| 12 | <p>第9章 近代国家の成立</p> <p>1. 開国と幕末の動乱</p> <p>2. 明治維新と富国強兵</p> <p>3. 立憲国家の成立と日清戦争</p> <p>4. 日露戦争と国際関係</p>  | 教科書<br>史料集<br>図表<br>プリント | 開国から明治維新に至るまでの過程について、国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して理解させる。明治新政府の諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を理解させる。      | 11          | 小<br>ト<br>授<br>の<br>取<br>組<br>み             |
| 1  | <p>5. 近代産業の発展</p> <p>6. 近代文化の発達</p> <p>……………(中間考<br/>査)</p> <p>第10章 二つの世界大戦とアジア</p> <p>1. 第一次世界大戦と日本</p> <p>2. ワシントン体制</p> <p>3. 市民生活の変容と大衆文化</p> | 教科書<br>史料集<br>図表<br>プリント | 立憲体制成立後から第一次世界大戦に至るまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の抗争などの視点から理解させる。第一次世界大戦が日本の社会経済に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などに関連させて理解させる。 | 5<br>1<br>5 | 定期考<br>査<br>小<br>ト<br>授<br>の<br>取<br>組<br>み |
| 2  | <p>4. 恐慌の時代</p> <p>5. 軍部の台頭</p>   | 教科書                      | 戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内外の状況について、経済対策はもとより政治   | 11          | 小<br>ト<br>授<br>の<br>取<br>組<br>み             |

|   |  |   |   |  |
|---|--|---|---|--|
|   | 6. 第二次世界大戦<br>第11章 占領下の日本<br>1. 占領と改革<br>2. 冷戦の開始と講和   | 史料<br>集<br>図<br>表<br>プ<br>リ<br>ン<br>ト               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済の動揺にも着目して理解させる。日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出の拡大による政党内閣の崩壊過程も踏まえて考察させる。</li> <li>戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を理解させる。</li> <li>独立後の日本国内政治について、55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解させる。</li> <li>高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、国際情勢の変化を踏まえて行った国内の政治対策について考察する。</li> </ul> | 授<br>業<br>の<br>取<br>り<br>組<br>み  |
| 3 | 第12章 高度成長の時代<br>1. 55年体制<br>2. 経済復興から高度成長へ<br>第13章 激動する世界と日本<br>1. 経済大国への道<br>2. 冷戦の終結と日本社会の動揺<br><br>…………… (期末考査) | 教<br>書<br>史<br>料<br>集<br>図<br>表<br>プ<br>リ<br>ン<br>ト |   | 6<br><br>定<br>期<br>考<br>査<br>テ<br>ス<br>ト<br>授<br>業<br>の<br>取<br>り<br>組<br>み<br><br>1 |

計 128 時間 (55 分授業)

#### 4 課題・提出物等

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「旧国名を調べる」「史料問題に挑む」などのテーマでプリントを配布し、解答・提出させる。</li> <li>・必要に応じて、夏季・冬季休業中の課題プリントや日本史レポート（テーマは自由、5枚以内）の解答・提出を求める。</li> </ul> |
|---|

学番 55 新潟県立六日町高等学校

#### 5 評価規準と評価方法

|   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 評価は次の4観点から行います。   |  |  |  |
| ① 関心・意欲・態度  | ② 思考・判断・表現   | ③ 資料活用 of 技能   | ④ 知識・理解  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加している。</li> <li>・日本史に関するさまざまなテーマについて、意欲的に自ら学ぶことができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本史の授業で学習したことをもとに、現代社会の諸問題をさまざまな角度から考察することができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料(図表なども含む)や文献史料等の視聴覚教材を積極的に活用し、歴史に対する理解を深めることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本史を理解するために必要な基本的知識を身につけている。</li> <li>・日本史の学習を通じて、現在の社会をより鋭く洞察することができる。</li> </ul> |
|   |  |  |  |

以上の観点を踏まえ、

- ① 授業への取り組み（授業態度、授業中の発言、学習活動への参加状況など）
  - ② 課題やレポート、授業ノート等の提出物
  - ③ 定期テスト
- などから、総合的に評価します。

## 6 担当者からの一言

日本史は「ただの暗記科目」と言われることがあります。もちろん、基礎的な知識を身に付けるために暗記は重要ですが、それらの知識を縦に横に結び付ける理解力と想像力も必要となってきます。また、近年の模試や共通テストの傾向に鑑みると、読解力も求められてきています。さまざまな力が日本史では求められるため、難しく感じる生徒もいるかと思いますが、「今日の日本」を多角的に視るためには重要な科目です。そして、世界史と異なり、日本という国に焦点をあてた非常に濃密な科目でもあります。ぜひ、楽しみながら授業に臨んでもらえたらと思います。